

高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	世界の国際機関債等へ投資をすることにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。	
主要運用対象	高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)	新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを主要投資対象とします。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
	豪ドル債マザーファンド	豪ドル建国際機関債、ソブリン債(国債、政府機関債等)および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組入制限	高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	新興国通貨建国際機関債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	豪ドル債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月24日(決算日が休日の場合は翌営業日)に決算を行い、分配対象額の範囲は、利子・配当収入と売買益(評価益を含みません)等の全額とし、基準価額水準等を勘案して分配します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

運用報告書(全体版)

第166期(決算日)	2022年12月26日
第167期(決算日)	2023年1月24日
第168期(決算日)	2023年2月24日
第169期(決算日)	2023年3月24日
第170期(決算日)	2023年4月24日
第171期(決算日)	2023年5月24日

受益者のみなさまへ

平素は「高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第166期から第171期までの決算を行いましたので、当期間の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉
サポートデスク 0120-565787
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

◎最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			参考指数	債組比	券入率	純資産額
		(分配落)	税込 配分	み 入金				
		円	円	%		%	%	百万円
第25作成期	(第142期) 2020年12月24日	3,989	20	2.9	279.69	2.5	94.8	1,453
	(第143期) 2021年1月25日	3,954	20	△0.4	278.59	△0.4	93.0	1,422
	(第144期) 2021年2月24日	4,070	20	3.4	280.42	0.7	92.8	1,444
	(第145期) 2021年3月24日	3,987	20	△1.5	277.84	△0.9	92.2	1,403
	(第146期) 2021年4月26日	4,023	20	1.4	281.14	1.2	92.8	1,398
	(第147期) 2021年5月24日	4,080	15	1.8	286.88	2.0	92.8	1,386
第26作成期	(第148期) 2021年6月24日	4,152	15	2.1	290.54	1.3	92.3	1,395
	(第149期) 2021年7月26日	4,054	15	△2.0	286.93	△1.2	91.9	1,355
	(第150期) 2021年8月24日	3,966	15	△1.8	282.32	△1.6	91.7	1,306
	(第151期) 2021年9月24日	4,008	15	1.4	284.84	0.9	79.2	1,299
	(第152期) 2021年10月25日	3,976	15	△0.4	286.94	0.7	92.0	1,276
	(第153期) 2021年11月24日	3,707	15	△6.4	280.16	△2.4	91.9	1,167
第27作成期	(第154期) 2021年12月24日	3,793	15	2.7	283.06	1.0	90.7	1,189
	(第155期) 2022年1月24日	3,722	15	△1.5	283.61	0.2	90.0	1,167
	(第156期) 2022年2月24日	3,791	15	2.3	288.27	1.6	91.6	1,180
	(第157期) 2022年3月24日	3,958	15	4.8	276.92	△3.9	92.8	1,230
	(第158期) 2022年4月25日	4,185	15	6.1	285.91	3.2	94.6	1,225
	(第159期) 2022年5月24日	4,101	15	△1.6	281.13	△1.7	93.6	1,168
第28作成期	(第160期) 2022年6月24日	4,104	15	0.4	287.53	2.3	93.4	1,159
	(第161期) 2022年7月25日	4,021	15	△1.7	283.08	△1.5	93.0	1,098
	(第162期) 2022年8月24日	4,139	15	3.3	289.44	2.2	93.8	1,123
	(第163期) 2022年9月26日	4,216	15	2.2	293.93	1.6	93.1	1,110
	(第164期) 2022年10月24日	4,392	15	4.5	297.71	1.3	93.5	1,151
	(第165期) 2022年11月24日	4,249	15	△2.9	295.94	△0.6	93.6	1,103
第29作成期	(第166期) 2022年12月26日	4,090	15	△3.4	291.74	△1.4	92.7	1,055
	(第167期) 2023年1月24日	4,105	15	0.7	297.81	2.1	93.0	1,052
	(第168期) 2023年2月24日	4,192	15	2.5	300.01	0.7	93.4	1,072
	(第169期) 2023年3月24日	4,048	15	△3.1	297.71	△0.8	94.7	1,020
	(第170期) 2023年4月24日	4,172	15	3.4	310.40	4.3	94.1	1,043
	(第171期) 2023年5月24日	4,240	15	2.0	318.52	2.6	93.6	1,057

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注4) J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J PモルガンGB I-E Mグローバル・ダイバーシファイド)はJ.P.Morgan Securities LLC(J Pモルガン)が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J Pモルガンの知的財産です。J Pモルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J PモルガンGB I-E Mグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を採用しております。

◎ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 組 比	券 入 率
		円	騰 落 率		騰 落 率		
第166期	(期 首)2022年11月24日	4,249	—	295.94	—	93.6	%
	11月末	4,267	0.4	295.99	0.0	93.7	
	(期 末)2022年12月26日	4,105	△3.4	291.74	△1.4	92.7	
第167期	(期 首)2022年12月26日	4,090	—	291.74	—	92.7	
	12月末	4,081	△0.2	291.68	△0.0	92.7	
	(期 末)2023年 1月24日	4,120	0.7	297.81	2.1	93.0	
第168期	(期 首)2023年 1月24日	4,105	—	297.81	—	93.0	
	1月末	4,121	0.4	298.22	0.1	92.9	
	(期 末)2023年 2月24日	4,207	2.5	300.01	0.7	93.4	
第169期	(期 首)2023年 2月24日	4,192	—	300.01	—	93.4	
	2月末	4,239	1.1	301.26	0.4	86.6	
	(期 末)2023年 3月24日	4,063	△3.1	297.71	△0.8	94.7	
第170期	(期 首)2023年 3月24日	4,048	—	297.71	—	94.7	
	3月末	4,204	3.9	304.67	2.3	94.7	
	(期 末)2023年 4月24日	4,187	3.4	310.40	4.3	94.1	
第171期	(期 首)2023年 4月24日	4,172	—	310.40	—	94.1	
	4月末	4,197	0.6	310.59	0.1	94.1	
	(期 末)2023年 5月24日	4,255	2.0	318.52	2.6	93.6	

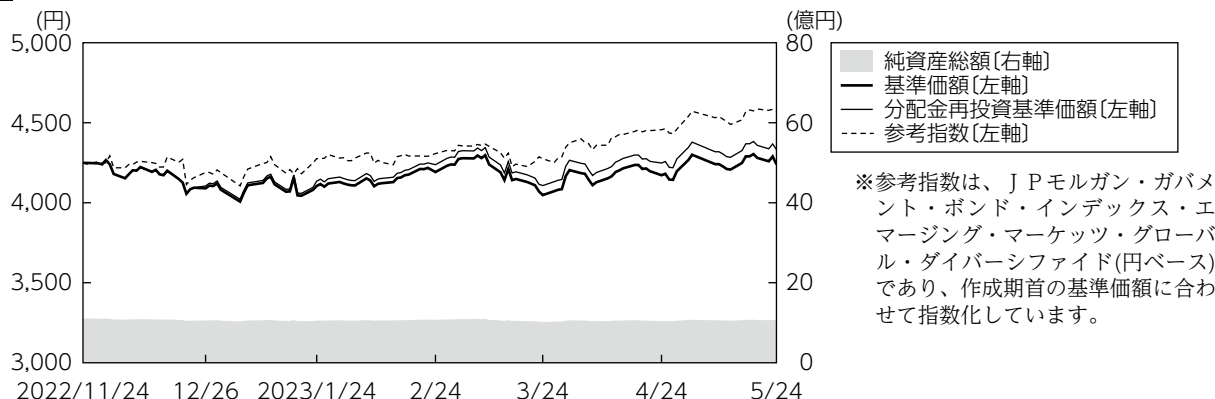
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしまして J P モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージェンツ・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移



第166期首(2022年11月24日)：4,249円

第171期末(2023年 5月24日)：4,240円(既払分配金90円)

騰落率：2.0%(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

(上昇要因)

- ・組入債券の利息が積み上がったこと
- ・ブラジルリアル、メキシコペソが円に対して上昇したこと

(下落要因)

- ・南アフリカランド、トルコリラ、豪ドルが円に対して下落したこと

【組入ファンドの作成対象期間における騰落率】

組入ファンド	騰落率
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	3.6%
豪ドル債マザーファンド	△0.7%

■ 投資環境

債券市場

(ブラジル)

当作成期のブラジル長期金利は低下（債券価格は上昇）しました。作成期首に年率6%付近で推移していたインフレ率は作成期末には年率4%台まで低下しました。こうした中、中央銀行は政策金利を13.75%で据え置きとして引き締めスタンスを維持しています。新大統領が財政・税制改革を推し進めつつ中央銀行に利下げを要望する中、インフレの鈍化も合わせて市場における利下げ期待の一部が織り込まれたことなどを反映して、2023年3月以降に長期金利は低下基調で推移しました。

(メキシコ)

当作成期のメキシコ長期金利は低下しました。作成期首に年率8%付近で推移していたインフレ率は作成期末にかけて年率6%付近まで緩やかに低下しました。こうした中、中央銀行は政策金利を引き上げ11.25%とした後に、2023年5月会合では政策金利の据え置きを決定しました。実質金利がプラスとなっている状態であることから、今後の利下げ期待の織り込みが一部進展したことなどを反映して、長期金利は低下しました。

(トルコ)

当作成期のトルコ長期金利は低下しました。通貨安を背景にインフレが大きく進む中、中央銀行は2023年2月に政策金利を8.50%に引き下げた後、作成期末にかけて政策金利を据え置きました。5月中旬に実施された大統領選挙の第1回投票において、劣勢とみられていた現職大統領は過半数を獲得できないながら1位となり、その後、3位の極右候補が現職支持を表明したため独特な金融政策の延長が視野に入る中、長期金利は低下しました。

(南アフリカ)

当作成期の南アフリカ長期金利は上昇（債券価格は下落）しました。インフレ率が概ね年率7%付近で推移していることから中央銀行の目標レンジ（3~6%）の上限を超過しています。こうした中、中央銀行は当作成期において政策金利を引き上げ7.75%としました。相次ぐ停電による電力不足やロシアへの武器供与疑惑により資金流出懸念も強まる中、概ね11%台で推移していた長期金利は作成期末に12%台へと急上昇しました。

(オーストラリア)

当作成期のオーストラリア長期金利は上昇しました。インフレへの対策として中央銀行は当作成期に政策金利を3.85%まで引き上げました。インフレ動向を見極めるとして2023年4月会合では利上げを休止しましたが、5月会合ではインフレの長期化を懸念して利上げを再開しました。こうした中、当作成期において長期金利は概ね3%台でのみ合いとなり、作成期首比では上昇となりました。

為替市場**(ブラジルレアル)**

当作成期のブラジルレアルは円に対して上昇しました。作成期首に年率6%付近で推移していたインフレ率は作成期末に年率4%台まで低下する中、中央銀行は政策金利を13.75%で据え置きました。中央銀行が「新たな利上げの可能性は低い」との姿勢を表明しましたが、高い実質金利水準や新大統領の財政改革などへの期待感などから、ブラジルレアルは対円で上昇しました。

(メキシコペソ)

当作成期のメキシコペソは円に対して上昇しました。インフレ率が8%付近から6%付近まで緩やかに低下する中、中央銀行は政策金利を11.25%とした後に、2023年5月会合では据え置きとしました。同国の実質金利がプラスとなっていることや産油国であること、好調な米国経済など、メキシコペソが買われやすい状況であることなどを受けて、メキシコペソは対円で堅調に推移しました。

(トルコリラ)

当作成期のトルコリラは円に対して下落しました。中央銀行は通貨安からインフレ率が激しく上昇しているにもかかわらず期中に利下げを実施するなど強権的な大統領の指示の下で独特な金融政策を維持しました。2023年5月に実施された大統領選挙において劣勢とみられていた現職が健闘していることから独特な金融政策が維持されるとの見通しを嫌気してトルコリラは対円で当作成期の安値圏で取引を終えました。

(南アフリカランド)

当作成期の南アフリカランドは円に対して下落しました。インフレ率が概ね年率7%付近と中央銀行の目標レンジ(3~6%)の上限を超過して推移したことから、中央銀行は政策金利を引き上げ7.75%としました。実質金利はプラスとなる中、ロシアへの武器供与疑惑やマネーロンダリング疑惑などを受けて同国からの資金流出が懸念されたことから、南アフリカランドは対円で下落しました。

(豪ドル)

当作成期の豪ドルは円に対して下落しました。中央銀行がインフレの鈍化を背景に利上げを打ち止めにするとの見通しから豪ドルは軟調に推移しました。2023年4月会合での利上げ休止を挟んで、5月会合では利上げを再開したことなどから、豪ドルは作成期末にかけて上昇基調に転じましたが、中国における景気回復に力強さがみられないことなどから、作成期首比で豪ドルは対円で下落しました。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

作成期首の運用方針に基づき、新興国通貨建国際機関債マザーファンドおよび豪ドル債マザーファンドを通じて、世界の国際機関債等へ投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。両マザーファンドの投資比率合計を高位に維持しました。

当作成期を通じて新興国通貨建国際機関債マザーファンドは概ね80%程度、豪ドル債マザーファンドは概ね20%程度組み入れました。

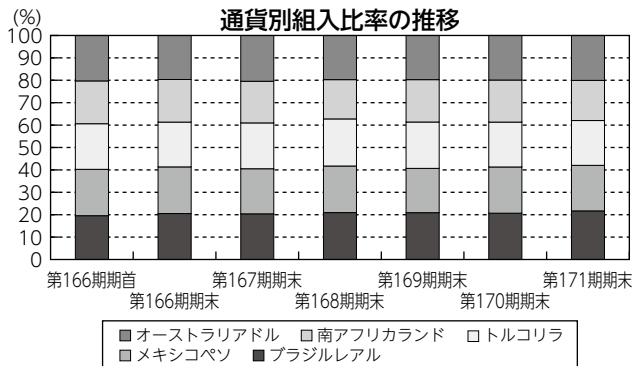
【信託財産の状況】

	作成期首	作成期末
外国債券	93.6%	93.6%
経過利息、現金等その他	6.4%	6.4%
組入銘柄数	14	15
デュレーション	1.1年	1.1年
残存年数	1.2年	1.2年
複利回り	13.6%	22.7%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※外国債券、経過利息、現金等その他の組入比率についてはマザーファンドへの投資を通じた数値

※格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付を採用

※デュレーション：投資元本の平均回収期間のことで、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわします。デュレーションが長い(大きい)ほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。金利が低下した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく上昇します。一方、金利が上昇した場合、デュレーションが長いほど債券価格は大きく下落します。



※組入債券の評価額合計に対する比率

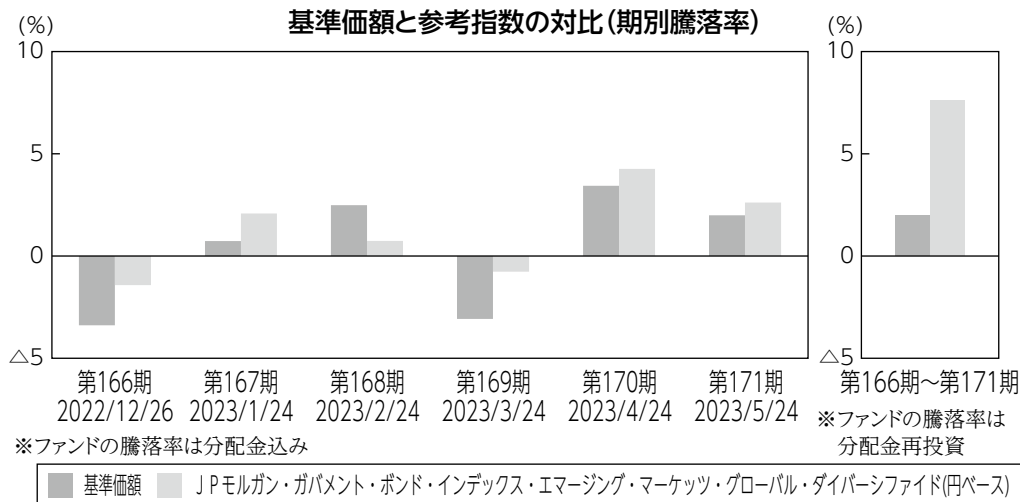
新興国通貨建国際機関債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建（ブラジルリアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド）で取得時においてA a a格相当の格付を取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首0.9年でしたが、作成期末には1.0年としました。

豪ドル債マザーファンド

作成期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a格相当の格付を取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。有価証券の組入比率は高位を維持し、デュレーションについては作成期首2.0年でしたが、作成期末には1.6年としました。

当投資信託のベンチマークとの差異



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

上記グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当作成期の基準価額（分配金再投資ベース）の騰落率は+2.0%となり、参考指数の騰落率は+7.6%となりました。

■ 分配金

当ファンドの収益分配金は基準価額水準等を勘案して1万口当たり次表のとおりとさせていただきます。収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
	2022年11月25日～ 2022年12月26日	2022年12月27日～ 2023年1月24日	2023年1月25日～ 2023年2月24日	2023年2月25日～ 2023年3月24日	2023年3月25日～ 2023年4月24日	2023年4月25日～ 2023年5月24日
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	0.365	0.364	0.357	0.369	0.358	0.353
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	253	264	282	292	311	328

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

高金利国際機関債ファンド (毎月決算型)

引き続き、新興国通貨建国際機関債マザーファンド、豪ドル債マザーファンドを通じて世界の国際機関債等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行う方針です。両マザーファンドへの投資比率合計を高位に保つ方針です。

新興国通貨建国際機関債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率を高位に維持しつつ、国際機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

豪ドル債マザーファンド

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、欧州投資銀行、欧州復興開発銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは作成期末現在の水準程度とします。

◎1万口当たりの費用明細

項目	第166期～第171期		項目の概要
	2022年11月25日～2023年5月24日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	25円	0.600%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×作成期末の信託報酬率 ※作成期間の平均基準価額は4,184円です。
(投信会社)	(11)	(0.273)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(13)	(0.300)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(1)	(0.027)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.019	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	26	0.619	

(注1) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

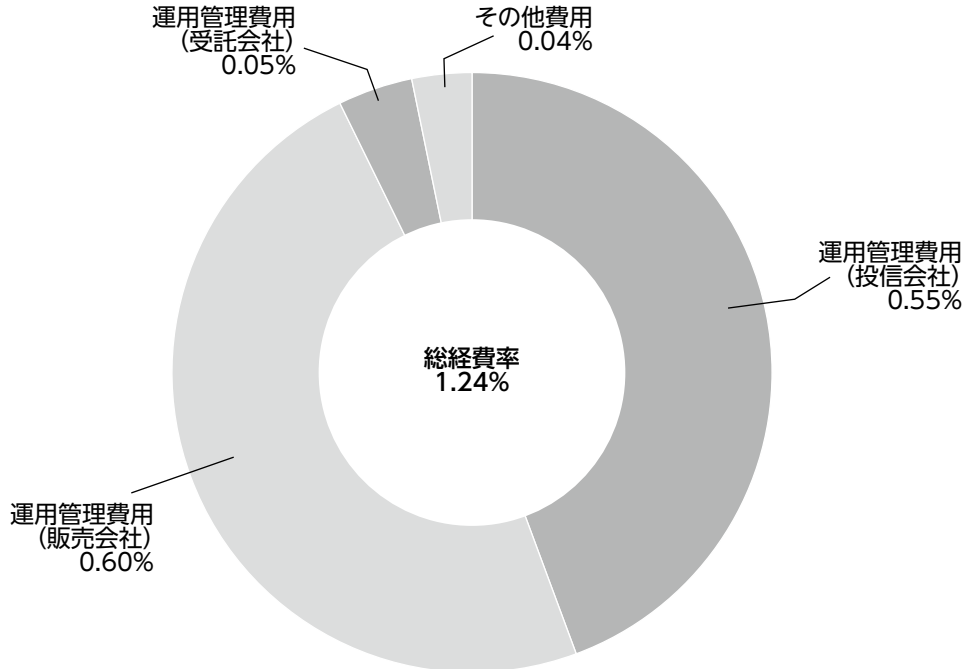
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.24%です。



(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎売買及び取引の状況(2022年11月25日～2023年5月24日)

○親投資信託の設定、解約状況

	第 166 期 ～ 第 171 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 37,314	千円 65,000
豪ドル債マザーファンド	—	—	4,119	10,000

(注)単位未満は切り捨て。

◎利害関係人との取引状況等(2022年11月25日～2023年5月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○親投資信託残高

種 類	第28作成期末	第 29 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	千口 491,912	千口 454,598	千円 821,959
豪ドル債マザーファンド	86,362	82,243	202,952

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2023年5月24日現在

項 目	第 29 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新興国通貨建国際機関債マザーファンド	821,959	77.3
豪ドル債マザーファンド	202,952	19.1
コール・ローン等、その他	38,809	3.6
投資信託財産総額	1,063,720	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 新興国通貨建国際機関債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(817,457千円)の投資信託財産総額(821,939千円)に対する比率は99.5%です。

(注3) 豪ドル債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(201,999千円)の投資信託財産総額(202,953千円)に対する比率は99.5%です。

(注4) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当作成期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.7164円、1ブラジルレアル=27.8701円、1トルコリラ=6.9776円、1オーストラリアドル=91.62円、1南アフリカランド=7.22円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2022年12月26日現在 2023年1月24日現在 2023年2月24日現在 2023年3月24日現在 2023年4月24日現在 2023年5月24日現在

項 目	第166期末	第167期末	第168期末	第169期末	第170期末	第171期末
(A) 資 産	1,060,661,167円	1,059,140,775円	1,077,837,209円	1,027,235,711円	1,048,544,263円	1,063,720,406円
コール・ローン等	38,409,359	38,077,395	39,610,366	35,249,956	35,476,433	38,807,557
新興国通貨建国際機関債マザーファンド(評価額)	824,006,349	814,002,517	838,086,622	798,499,055	814,177,714	821,959,891
豪ドル債マザーファンド(評価額)	198,245,459	207,060,863	200,140,221	193,486,700	198,890,116	202,952,958
(B) 負 債	5,487,324	6,407,978	4,941,316	6,673,652	5,358,210	5,830,148
未払収益分配金	3,870,269	3,846,806	3,839,203	3,781,880	3,750,935	3,742,797
未払解約金	460,733	1,542,061	4,824	1,893,070	527,904	1,028,050
未払信託報酬	1,149,053	1,012,367	1,090,172	992,257	1,072,653	1,053,034
未払利息	—	—	—	—	—	97
その他未払費用	7,269	6,744	7,117	6,445	6,718	6,170
(C) 純資産総額(A-B)	1,055,173,843	1,052,732,797	1,072,895,893	1,020,562,059	1,043,186,053	1,057,890,258
元 本	2,580,179,481	2,564,537,616	2,559,469,313	2,521,253,463	2,500,623,676	2,495,198,048
次期繰越損益金	△1,525,005,638	△1,511,804,819	△1,486,573,420	△1,500,691,404	△1,457,437,623	△1,437,307,790
(D) 受益権総口数	2,580,179,481口	2,564,537,616口	2,559,469,313口	2,521,253,463口	2,500,623,676口	2,495,198,048口
1万円当たり基準価額(C/D)	4,090円	4,105円	4,192円	4,048円	4,172円	4,240円

(注1) 当ファンドの第166期首元本額は2,596,351,540円、第166~171期中追加設定元本額は31,473,120円、第166~171期中一部解約元本額は132,626,612円です。

(注2) 1口当たり純資産額は、第166期0.4090円、第167期0.4105円、第168期0.4192円、第169期0.4048円、第170期0.4172円、第171期0.4240円です。

(注3) 純資産総額が元本額を下回っており、その額は第166期1,525,005,638円、第167期1,511,804,819円、第168期1,486,573,420円、第169期1,500,691,404円、第170期1,457,437,623円、第171期1,437,307,790円です。

◎損益の状況

項 目	〔自 2022年11月25日 至 2022年12月26日〕	〔自 2022年12月27日 至 2023年 1月24日〕	〔自 2023年1月25日 至 2023年2月24日〕	〔自 2023年2月25日 至 2023年3月24日〕	〔自 2023年3月25日 至 2023年4月24日〕	〔自 2023年4月25日 至 2023年5月24日〕
	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
(A) 配 当 等 収 益	-円	-円	-円	-円	-円	△ 664円
支 払 利 息	-	-	-	-	-	△ 664
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 36,189,279	8,820,164	27,092,140	△ 31,536,002	35,777,055	21,759,781
売 買 益	122,357	9,007,992	29,087,961	33,364	36,082,065	21,845,015
売 買 損	△ 36,311,636	△ 187,828	△ 1,995,821	△ 31,569,366	△ 305,010	△ 85,234
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,157,016	△ 1,019,740	△ 1,098,089	△ 999,275	△ 1,080,135	△ 1,059,869
(D) 当 期 繰 越 損 益 金	△ 37,346,295	7,800,424	25,994,051	△ 32,535,277	34,696,920	20,699,248
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 782,764,575	△ 817,791,191	△ 807,703,679	△ 772,888,847	△ 801,332,707	△ 767,755,362
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 701,024,499	△ 697,967,246	△ 701,024,589	△ 691,485,400	△ 687,050,901	△ 686,508,879
(配 当 等 相 当 額)	(22,004,399)	(21,939,091)	(22,155,892)	(21,917,079)	(21,822,248)	(21,850,750)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 723,028,898)	(△ 719,906,337)	(△ 723,180,481)	(△ 713,402,479)	(△ 708,873,149)	(△ 708,359,629)
(G) 計 (D+E+F)	△ 1,521,135,369	△ 1,507,958,013	△ 1,482,734,217	△ 1,496,909,524	△ 1,453,686,688	△ 1,433,564,993
(H) 収 益 分 配 金	△ 3,870,269	△ 3,846,806	△ 3,839,203	△ 3,781,880	△ 3,750,935	△ 3,742,797
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△ 1,525,005,638	△ 1,511,804,819	△ 1,486,573,420	△ 1,500,691,404	△ 1,457,437,623	△ 1,437,307,790
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 701,024,499	△ 697,967,246	△ 701,024,589	△ 691,485,400	△ 687,050,901	△ 686,508,879
(配 当 等 相 当 額)	(22,009,670)	(21,943,616)	(22,189,130)	(21,921,369)	(21,828,385)	(21,855,585)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 723,034,169)	(△ 719,910,862)	(△ 723,213,719)	(△ 713,406,769)	(△ 708,879,286)	(△ 708,364,464)
分 配 準 備 積 立 金	43,347,743	45,975,927	50,007,282	51,879,585	55,963,079	60,020,181
繰 越 損 益 金	△ 867,328,882	△ 859,813,500	△ 835,556,113	△ 861,085,589	△ 826,349,801	△ 810,819,092

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 第166期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,574,084円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(22,009,670円)および分配準備積立金(39,643,928円)より分配対象収益は69,227,682円(10,000口当たり268円)であり、うち3,870,269円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第167期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,800,630円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(21,943,616円)および分配準備積立金(43,022,103円)より分配対象収益は71,766,349円(10,000口当たり279円)であり、うち3,846,806円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第168期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,217,078円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(22,189,130円)および分配準備積立金(45,629,407円)より分配対象収益は76,035,615円(10,000口当たり297円)であり、うち3,839,203円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第169期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,460,105円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(21,921,369円)および分配準備積立金(49,201,360円)より分配対象収益は77,582,834円(10,000口当たり307円)であり、うち3,781,880円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第170期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,339,200円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(21,828,385円)および分配準備積立金(51,374,814円)より分配対象収益は81,542,399円(10,000口当たり326円)であり、うち3,750,935円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

第171期 計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,991,049円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(21,855,585円)および分配準備積立金(55,771,929円)より分配対象収益は85,618,563円(10,000口当たり343円)であり、うち3,742,797円(10,000口当たり15円)を分配金額としております。

◎収益分配金のお知らせ

決 算 期	第166期	第167期	第168期	第169期	第170期	第171期
1万口当たりの分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配金をお支払いする場合

分配金は、各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

※分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

<補足情報>

下記は、新興国通貨建国際機関債マザーファンド全体(454,598千口)の内容です。

後掲する当該マザーファンド運用報告書の決算日と当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日現在における、マザーファンドの組入資産の内容を以下に記載しております。

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	第 29 作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
メキシコ	千メキシコペソ 27,040	千メキシコペソ 26,070	千円	% 24.5	% —	% —	% —	% 24.5
ブラジル	千ブラジルリアル 8,600	千ブラジルリアル 7,712		26.2	—	—	12.3	13.9
トルコ	千トルコリラ 34,070	千トルコリラ 28,350		24.1	—	—	—	24.1
南アフリカ	千南アフリカランド 25,000	千南アフリカランド 24,602		21.6	—	—	12.9	8.7
合 計	—	—	791,572	96.3	—	—	25.2	71.1

(注1)邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)一印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額			償 還 年 月 日
				外貨建金額	邦貨換算金額		
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
EUROPEAN INVT BK 4.25%	特殊債券 (除く金融債)	4.25	10,600	9,832	75,867	2024/ 6/19	
EUROPEAN INVT BK 7.5%		7.5	16,440	16,238	125,301	2023/ 7/30	
小 計					201,168		
(ブラジル)			千ブラジルリアル	千ブラジルリアル			
EUROPEAN INVT BK 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	3,100	2,542	70,854	2025/ 6/12	
EUROPEAN INVT BK 4.75%		4.75	4,300	4,098	114,232	2024/ 1/25	
INT BK RECON&DEV 5%		5.0	1,200	1,071	29,865	2026/ 1/22	
小 計					214,952		
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ			
EURO BK RECON&DV 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	23,870	19,814	138,258	2023/ 9/ 5	
EURO BK RECON&DV 13%		13.0	2,200	1,879	13,111	2024/ 1/19	
EURO BK RECON&DV 8.5%		8.5	8,000	6,656	46,448	2024/ 2/14	
小 計					197,818		

銘柄名	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
				千南アフリカランド	千円	
(南アフリカ)		%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円	
EUROPEAN INVT BK 8.5%	特殊債券 (除く金融債)	8.5	10,000	9,910	71,553	2024/ 9/17
EUROPEAN INVT BK 8.75%		8.75	11,000	10,873	78,506	2025/ 8/18
INT BK RECON&DEV 8.25%		8.25	4,000	3,818	27,571	2026/12/21
小計					177,632	
合計					791,572	

(注1)邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3)銘柄名にある「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」・「EURO BK RECON&DV」は「欧州復興開発銀行」です。

下記は、豪ドル債マザーファンド全体(82,243千口)の内容です。

後掲する当該マザーファンド運用報告書の決算日と当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日現在における、マザーファンドの組入資産の内容を以下に記載しております。

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区分	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
		千オーストラリアドル	千円			%	%	%
オーストラリア	2,170	2,165	198,421	97.8	—	—	8.4	89.4
合計	2,170	2,165	198,421	97.8	—	—	8.4	89.4

(注1)邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)—印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
				千オーストラリアドル	千円	
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
AFRICAN DEV BANK 4%	特殊債券 (除く金融債)	4.0	500	498	45,651	2025/ 1/10
ASIAN DEV BANK 3.75%		3.75	690	686	62,909	2025/ 3/12
EUROPEAN INVT BK 4.75%		4.75	790	795	72,900	2024/ 8/ 7
INT BK RECON&DEV 2.9%		2.9	190	185	16,959	2025/11/26
合計					198,421	

(注1)邦貨換算金額は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3)銘柄名にある「AFRICAN DEV BANK」は「アフリカ開発銀行」・「ASIAN DEV BANK」は「アジア開発銀行」・「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」です。

新興国通貨建国際機関債マザーファンド

運用報告書

第14期

(決算日 2022年11月24日)

「新興国通貨建国際機関債マザーファンド」は、2022年11月24日に第14期決算を行いました。
以下、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	相対的に金利の高い新興国通貨建で信用力の高い国際機関債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数	債組比	券入率	純資産額
	期騰落	中率				
	円	%		%	%	百万円
(第10期) 2018年11月26日	15,092	△ 3.2	259.01	△4.0	94.8	1,732
(第11期) 2019年11月25日	15,845	5.0	277.82	7.3	95.5	1,467
(第12期) 2020年11月24日	13,972	△11.8	272.97	△1.7	96.2	1,134
(第13期) 2021年11月24日	13,949	△ 0.2	280.16	2.6	92.7	904
(第14期) 2022年11月24日	17,461	25.2	295.94	5.6	95.8	858

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

(注2) J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(J PモルガンGB I-EMグローバル・ダイバーシファイド)はJ.P.Morgan Securities LLC(J Pモルガン)が公表している、エマージング諸国の国債を中心とした債券市場の合成パフォーマンスを表す指数として広く認知されているものであり、J Pモルガンの知的財産です。J Pモルガンは当ファンドの運用成果等に関し一切責任はありません。J PモルガンGB I-EMグローバル・ダイバーシファイド(円ベース)については基準価額との関連を考慮して前日の指数を採用しております。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数	債組比	券入率
	期騰落	中率			
	円	%		%	%
(期首)2021年11月24日	13,949	—	280.16	—	92.7
11月末	13,672	△ 2.0	275.87	△1.5	92.5
12月末	14,085	1.0	284.19	1.4	92.3
2022年 1月末	14,291	2.5	283.11	1.1	91.9
2月末	14,390	3.2	285.04	1.7	93.5
3月末	15,893	13.9	283.80	1.3	96.9
4月末	16,301	16.9	279.49	△0.2	96.6
5月末	16,286	16.8	284.25	1.5	96.0
6月末	16,700	19.7	290.59	3.7	95.5
7月末	16,055	15.1	283.78	1.3	95.9
8月末	16,814	20.5	295.47	5.5	96.5
9月末	17,052	22.2	290.22	3.6	95.9
10月末	17,948	28.7	296.60	5.9	96.0
(期末)2022年11月24日	17,461	25.2	295.94	5.6	95.8

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてJ Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)を記載しております。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2021年11月25日～2022年11月24日)

1 基準価額

基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首13,949円で始まり期末17,461円で終わりました。騰落率は+25.2%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・インフレ指標の高進を背景に、主要な新興国の中央銀行が政策金利を積極的に引き上げる一方、日銀が金融緩和策を維持する姿勢を示したことで、新興国と日本との金利差が拡大するとの見通しの強まりから、トルコリラを除く組入通貨が円に対して上昇したこと

(下落要因)

- ・トルコにおいてインフレ指標が高進するにもかかわらず、大統領の意向を受けて中央銀行が2022年8月の金融政策決定会合以降に政策金利の引き下げを実施するなど独特の金融政策を採用したことなどを受けて、トルコリラが円に対して下落したこと

2 運用経過

運用概況

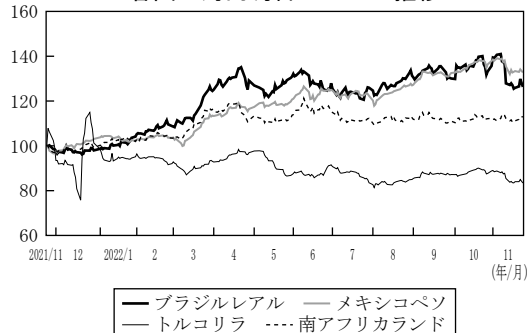
期首の運用方針に基づき、主として新興国通貨建(ブラジルレアル、メキシコペソ、トルコリラ、南アフリカランド)で取得時においてA a a相当格の格付を取得している国際機関債等へ分散投資することにより、信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行いました。流動性などを勘案し銘柄を絞り込み、経済動向、金利水準を分析し、これら4通貨が均等になるように、欧州投資銀行、国際金融公社、国際復興開発銀行、欧州復興開発銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	92.7%	95.8%
経過利息、現金等その他	7.3%	4.2%
組入銘柄数	10	10
デュレーション	1.2年	0.9年
残存年数	1.3年	1.0年
複利最終利回り	11.1%	16.0%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

各国の対円為替レートの推移



※各国の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値等)は期首を100として指数化したものです。

3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国債機関債により4通貨が均等になるよう運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021年11月25日～2022年11月24日		
	金額	比率	
(a) その他費用	5円	0.031%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は15,790円です。
(保管費用)	(5)	(0.029)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	5	0.031	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2021年11月25日～2022年11月24日)

○公社債

			買付額	売付額
外	メキシコ	特殊債券	千メキシコペソ 1,564	千メキシコペソ 12,662
	ブラジル	特殊債券	千ブラジルリアル 7,722	千ブラジルリアル 11,618
	トルコ	特殊債券	千トルコリラ 27,343	千トルコリラ 6,669 (13,198)
国	南アフリカ	特殊債券	千南アフリカランド 3,923	千南アフリカランド 11,464

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎利害関係人との取引状況等 (2021年11月25日～2022年11月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5年以上	2年以上	2年未満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 31,260	千メキシコペソ 29,660	千円 213,587	% 24.9	% —	% —	% —	% 24.9
ブ ラ ジ ル	千ブラジルリアル 9,000	千ブラジルリアル 7,759	201,882	23.5	—	—	7.0	16.5
ト ル コ	千トルコリラ 32,550	千トルコリラ 28,122	210,533	24.5	—	—	—	24.5
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 23,860	千南アフリカランド 24,041	197,140	23.0	—	—	—	23.0
合 計	—	—	823,144	95.8	—	—	7.0	88.8

(注1)邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3)単位未満は切り捨て。

(注4)－印は組み入れなし。

(注5)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘柄名	種類	利率	額面金額	期末		償還年月日
				評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(メキシコ)		%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円	
EUROPEAN INVT BK 4.25%	特殊債券 (除く金融債)	4.25	10,600	9,580	68,989	2024/6/19
EUROPEAN INVT BK 7.5%		7.5	20,660	20,080	144,598	2023/7/30
小計					213,587	
(ブラジル)			千ブラジルレアル	千ブラジルレアル		
EUROPEAN INVT BK 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	3,100	2,310	60,111	2025/6/12
EUROPEAN INVT BK 4.75%		4.75	4,900	4,467	116,221	2024/1/25
INTL FIN CORP 8.25%		8.25	1,000	982	25,549	2023/1/30
小計					201,882	
(トルコ)			千トルコリラ	千トルコリラ		
EURO BK RECON&DV 0%	特殊債券 (除く金融債)	—	19,000	15,011	112,382	2023/9/ 5
EURO BK RECON&DV 12.5%		12.5	13,550	13,110	98,151	2023/2/ 9
小計					210,533	
(南アフリカ)			千南アフリカランド	千南アフリカランド		
EUROPEAN INVT BK 7.25%	特殊債券 (除く金融債)	7.25	9,950	9,932	81,448	2023/2/28
EUROPEAN INVT BK 8.5%		8.5	10,000	10,215	83,764	2024/9/17
INT BK RECON&DEV 7.5%		7.5	3,910	3,893	31,927	2023/5/17
小計					197,140	
合計					823,144	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「INTL FIN CORP」は「国際金融公社」・「EURO BK RECON&DV」は「欧州復興開発銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」です。

◎投資信託財産の構成

2022年11月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	823,144	89.1
コール・ローン等、その他	100,497	10.9
投資信託財産総額	923,641	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(851,936千円)の投資信託財産総額(923,641千円)に対する比率は92.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=7.2011円、1ブラジルレアル=26.0176円、1トルコリラ=7.4862円、1南アフリカランド=8.20円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2022年11月24日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	1,292,254,816
コール・ローン等	6,995,856
公社債(評価額)	823,144,951
未収入金	431,815,916
未収利息	26,358,386
前払費用	3,939,707
(B) 負 債	433,327,101
未払金	433,326,642
その他未払費用	459
(C) 純資産総額(A-B)	858,927,715
元 本	491,912,985
次期繰越損益金	367,014,730
(D) 受益権総口数	491,912,985口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,461円

◎損益の状況

自 2021年11月25日
至 2022年11月24日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	84,206,712
受 取 利 息	84,206,712
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	125,729,352
売 買 益	177,328,552
売 買 損	△ 51,599,200
(C) 信 託 報 酬 等	△ 280,858
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	209,655,206
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	256,022,217
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 98,662,693
(G) 計 (D+E+F)	367,014,730
次 期 繰 越 損 益 金(G)	367,014,730

(注1) 当親ファンドの期首元本額は648,250,292円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は156,337,307円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)491,912,985円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.7461円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

豪ドル債マザーファンド

運用報告書

第14期

(決算日 2022年11月24日)

「豪ドル債マザーファンド」は、2022年11月24日に第14期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	豪ドル建国際機関債、ソブリン債（国債、政府機関債等）および豪ドル建地方債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組比	券入率	純資産額
	円	騰落率	騰落率	騰落率			
(第10期) 2018年11月26日	20,895	△1.4	317.75	△1.7	97.0	%	百万円 413
(第11期) 2019年11月25日	20,007	△4.2	323.44	1.8	97.7	%	361
(第12期) 2020年11月24日	21,242	6.2	344.99	6.7	97.3	%	282
(第13期) 2021年11月24日	22,736	7.0	357.24	3.6	97.6	%	239
(第14期) 2022年11月24日	24,853	9.3	365.78	2.4	97.6	%	214

(注1)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

(注2)FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組比	券入率
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首)2021年11月24日	22,736	—	357.24	—	97.6	%
11月末	22,279	△2.0	352.39	△1.4	97.5	%
12月末	22,954	1.0	366.44	2.6	97.3	%
2022年 1月末	22,069	△2.9	345.64	△3.2	96.9	%
2月末	22,494	△1.1	348.41	△2.5	96.6	%
3月末	24,446	7.5	371.60	4.0	96.3	%
4月末	24,207	6.5	364.38	2.0	96.0	%
5月末	24,294	6.9	361.76	1.3	97.7	%
6月末	24,580	8.1	359.68	0.7	97.5	%
7月末	24,968	9.8	373.63	4.6	97.6	%
8月末	25,025	10.1	367.93	3.0	97.2	%
9月末	24,635	8.4	357.30	0.0	96.9	%
10月末	25,026	10.1	366.14	2.5	97.7	%
(期末)2022年11月24日	24,853	9.3	365.78	2.4	97.6	%

(注1)騰落率は期首比です。

(注2)当ファンドはベンチマークを設けておりません。参考指数といたしましてFTSE世界国債インデックス(オーストラリア 国内投信用、円ベース)を記載しております。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2021年11月25日～2022年11月24日)

1 基準価額

基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首22,736円で始まり期末24,853円で終わりました。騰落率は+9.3%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

- ・組入債券の利息収入が積み上がったこと
- ・インフレ指標の高進を背景にRBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き上げを開始する見通しが強まる一方で日銀が政策金利を引き上げる状況にはないとの見方を示す中、両国の金利差が拡大するとの見通しの強まりから、主に2022年3月から4月にかけて豪ドルが円に対して上昇したこと

(下落要因)

- ・RBAが政策金利の引き上げを実施するとの見通しを受けて、当期前半において金利が上昇（債券価格は下落）したこと

2 運用経過

運用概況

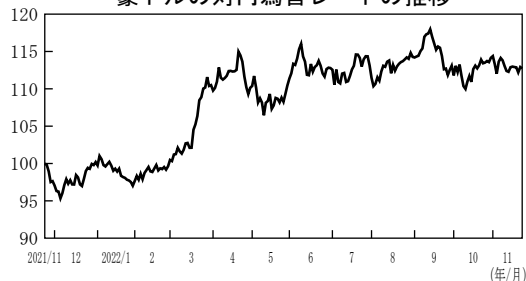
期首の運用方針に基づき、取得時においてA a a相当格の格付を取得している豪ドル建国際機関債に分散投資し信託財産の中長期的な成長と安定的な収益の確保を目指し運用を行いました。当期においては国際復興開発銀行、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、欧州投資銀行などの国際機関債を組み入れたポートフォリオを構築しました。

【信託財産の状況】

	期首	期末
外国債券	97.6%	97.6%
経過利息、現金等その他	2.4%	2.4%
組入銘柄数	3	4
デュレーション	2.8年	2.0年
残存年数	2.9年	2.1年
複利最終利回り	1.4%	4.0%
格付		
A a a	100.0%	100.0%

※上記の格付については組入債券の評価額合計に対する比率でムーディーズ・インベスターズサービスによる格付を採用

豪ドルの対円為替レートの推移



※上記通貨の対円為替レート(対顧客電信売買相場の仲値)は期首を100として指数化したものです。

3 今後の運用方針

引き続き、経済動向、金利水準を分析し、有価証券の組入比率は高位を維持しつつ、国際復興開発銀行、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行、欧州投資銀行などの国際機関債中心の運用を継続します。当面デュレーションは期末現在の水準程度とします。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2021年11月25日～2022年11月24日		
	金額	比率	
(a) その他費用	7円	0.030%	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は23,914円です。
(保管費用)	(6)	(0.026)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(1)	(0.004)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	7	0.030	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2021年11月25日～2022年11月24日)

○公社債

			買付額	売付額
外国	オーストラリア	特殊債券	千オーストラリアドル 182	千オーストラリアドル 585

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

◎利害関係人との取引状況等(2021年11月25日～2022年11月24日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	当 期				末			
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 2,230	千オーストラリアドル 2,231	千円 209,441	% 97.6	% —	% —	% 59.9	% 37.7
合 計	2,230	2,231	209,441	97.6	—	—	59.9	37.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) -印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

○外国(外貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	種 類	利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
				末		
(オーストラリア)		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
AFRICAN DEV BANK 4%	特殊債券 (除く金融債)	4.0	500	498	46,812	2025/ 1/10
ASIAN DEV BANK 3.75%		3.75	690	687	64,520	2025/ 3/12
EUROPEAN INVT BK 4.75%		4.75	850	861	80,873	2024/ 8/ 7
INT BK RECON&DEV 2.9%		2.9	190	183	17,234	2025/11/26
合 計					209,441	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

(注3) 銘柄名にある「AFRICAN DEV BANK」は「アフリカ開発銀行」・「ASIAN DEV BANK」は「アジア開発銀行」・「EUROPEAN INVT BK」は「欧州投資銀行」・「INT BK RECON&DEV」は「国際復興開発銀行」です。

◎投資信託財産の構成

2022年11月24日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	209,441	97.6
コール・ローン等、その他	5,199	2.4
投資信託財産総額	214,640	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(212,083千円)の投資信託財産総額(214,640千円)に対する比率は98.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1オーストラリアドル=93.86円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2022年11月24日現在

項 目	当 期 末
	円
(A) 資 産	214,640,573
コール・ローン等	2,621,160
公社債(評価額)	209,441,409
未 収 利 息	2,365,787
前 払 費 用	212,217
(B) 負 債	205
そ の 他 未 払 費 用	205
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	214,640,368
元 本	86,362,792
次 期 繰 越 損 益 金	128,277,576
(D) 受 益 権 総 口 数	86,362,792口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,853円

◎損益の状況

自 2021年11月25日
至 2022年11月24日

項 目	当 期
	円
(A) 配 当 等 収 益	9,364,510
受 取 利 息	9,364,510
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,450,112
売 買 益	27,829,742
売 買 損	△ 17,379,630
(C) 信 託 報 酬 等	△ 66,260
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	19,748,362
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	134,382,272
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	8,937,924
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 34,790,982
(H) 計 (D+E+F+G)	128,277,576
次 期 繰 越 損 益 金(H)	128,277,576

(注1) 当親ファンドの期首元本額は105,509,734円、期中追加設定元本額は6,062,076円、期中一部解約元本額は25,209,018円です。

(注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、高金利国際機関債ファンド(毎月決算型)86,362,792円です。

(注3) 1口当たり純資産額は2,4853円です。

(注4) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注6) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注7) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。